

宮崎大学工学部と宮崎県県土整備部との 連携協力に関する協定について

～安全・安心な県土づくりを担う人材育成に向けて～
(案)

令和7年2月19日（予定）



宮崎大学
University of Miyazaki

宮崎大学工学部
宮崎県県土整備部



宮崎大学工学部と宮崎県県土整備部との連携協力に関する協定について

背景

建設産業は、地域のインフラ整備や災害時の対応をはじめとする県民の安全・安心な生活の確保にかかせない地域の守り手として、大きな役割を担っている。しかしながら、少子高齢化の進行等に伴い、本県の建設産業を支える土木人材不足が深刻化しており、将来の担い手確保が急務となっている。

目的

教育・研究の拠点である宮崎大学工学部と県土整備部が持つお互いの強みや知見を活かし、以下の取組を積極的に連携しながら、防災・減災をはじめ土木分野における技術力向上や課題解決、それらを担う人材の育成を推進し、安全・安心で持続可能な地域社会の形成及び建設産業の発展に寄与していく

宮崎大学 工学部

地域への貢献

①災害発生時など迅速かつ的確な対応のための連携体制強化

- 災害発生時における緊急調査や技術的助言をはじめ、県土整備行政の推進に必要な助言等を行うため、大学学識者で構成する「（仮称）県土整備推進アドバイザー制度」を創設し、迅速な現場対応及び課題解決を図る。

②相互の強みや知見を活かした本県社会インフラの整備推進

- 県が管理する道路や河川整備、インフラメンテナンス等に関する課題解決において、大学研究室と県土整備部による共同研究等を実施し、相互の強みや知見を活かした本県の社会インフラの整備推進を図る。

③工学人材(土木、機械、電気等)の育成

- 大学学識者や学生、県土整備部職員が一同に集い、共同研究の進捗状況等の発表や意見交換を行う勉強会・交流会を開催する。
- 大学講義において、本県のインフラ整備状況や重要性、役割、魅力等について県土整備部職員が講義を行う「工学部・県土整備部連携講義」を設置し、人材育成を図る。

宮崎県 県土 整備部

県土の強靱化